

家庭教育支援総合推進事業「子育てほっ！とサロン」 －県立施設における3年間の事業展開をとおして－

生涯学習支援課

【要旨】 家庭教育の充実を図るため、保護者等に対して学習機会の提供を行っていくことは、子育てに負担を感じたり、不安や悩みを持つ保護者を支援し、教育の出発点である家庭教育の再生を図るうえで大切である。

教育センター学びの丘においては、乳幼児から小学生の保護者を対象とし、家庭教育の充実をねらいとした子育て講座「子育てほっ！とサロン」を3年間（平成17年度～19年度）実施するとともに、平成19年度には子育て支援者等研修会を実施した。

これらの事業を顧みることにより、家庭教育子育て支援の在り方について一考察を行う。

【キーワード】 悩み等の相談、課題別学習、ふれあい交流、支援者等のスキルアップ

1 事業の位置づけ

「子育てほっ！とサロン」開設事業は和歌山県教育センター学びの丘（和歌山県立情報交流センターBig・U内）に、国委託事業「家庭教育支援総合推進事業」を活用して、親子が気軽に参加できる居場所として「子育てほっ！とサロン」（以下、サロンという）を開設し、家庭教育子育て支援の推進を図るモデル事業である。

2 事業主体

上記の事業は「スペース～遊U～実行委員会」が主体となって実施した。本委員会には、県立紀南図書館長をはじめ、図書館ボランティア代表、子育て支援関係NPO代表、新庄地区の有識者、和歌山県家庭教育インストラクター等計8名に実行委員を委嘱し、年3回の実行委員会議を行い、内容・運営について協議のうえ事業を進めた。

◇実行委員会事務局住所

和歌山県教育センター学びの丘 生涯学習支援課内

田辺市新庄町3353-9 TEL：0739-26-3514 FAX：0739-26-8120

◇和歌山県教育センター学びの丘

当教育センター学びの丘は田辺市（人口 約84,000人）新庄町の丘陵地にある和歌山県立情報交流センターBig・U内に平成17年4月に開所した教育施設。県立情報交流センターBig・U内には県立紀南図書館もあり、当教育センターと併せて隣接する上富田町（人口 約15,000人）や白浜町（人口 約24,000人）等からの家族連れを中心とした来館者が多い。（本年度2月に開館3年目にして来館者100万人を達成）また、周辺には新庄総合公園や市立美術館がある。

3 「子育てほっ！とサロン」事業について

【ねらい】

本事業は保護者同士が育児の疑問や悩みを出し合い、テーマ学習を通じて育児不安を解消し、親が親となっていく学びの場になるよう、また、親同士が学び、育ち合う学習の場をめざしている。

また、講義の最中には一時保育ルームを2時間30分設け、母親が子どもから一時的に開放され、サロン終了後にはリフレッシュした気持ちで子どもと接することができるように考慮した。

(1) 事業内容

① 募集（対象の保護者）

平成17年度では、『初めて子育てに取り組んでいる保護者』に絞った。その理由は幼稚園や保育所等に入っていない年齢の子ども（0～3歳）をもつ保護者を対象とすることで、共通の話題でサロンでの話し合いが活発になり、サロンを通じて新たなネットワークができ、仲間といっしょに楽しみながら子育てに取り組めるのではないかと考えたからである。

平成18・19年度は、『小学生以下の子ども（0～12歳）をもつ保護者』と対象者の範囲を広げ、メンバー内の子育ての先輩からのアドバイス等が受けられる異年齢間の親同士の交流を大きな目標とした。

また、平成18年度は仲間づくりに重点をおき、1年間通して同じメンバー（15名）で開設したが、平成19年度は、より多くの方に受講をしてもらうために、前期24名・後期24名と定員を増やした。

募集については、近隣の市町村在住者とし、当該の教育委員会等に募集チラシを配布すると同時に当教育センター学びの丘のホームページにも掲載した。地方紙にも募集要項を掲載し、参加を呼びかけた。

【後期】
子育てほっ！とサロン
【きのくに県民カレッジ対象講座】

「子育てほっ！とサロン」とは、子育てについていっしょに考えたり、日頃感じていることや疑問に思っていることを出し合う中で、親として学び、育ち合う学習の場で、講座等を7回開設します。

○11月15日(木) 「子育てって・・・」	○11月29日(木) 「おしゃべりタイムⅠ」
○12月13日(木) 「お菓子を作ろう」	○1月17日(木) 「絵本のABC」
○2月2日(土) 「親子体操」(公開講座)	○2月14日(木) 「救急処置法」(公開講座)
○2月21日(木) 「おしゃべりタイムⅡ」	公開講座とは通常のメンバー以外の参加可能な講座です。 * (内容変更する場合があります)

◇時 間 午前10時00分～12時00分

◇講 師 家庭教育支援者や子育て教育の専門家

◇会 場 和歌山県教育センター学びの丘
(県立情報交流センターB i g・U内)
田辺市新庄町3353-9

◇対 象 0歳児～小学生児童をもつ保護者24名
(原則として7回通して参加できる方)

◇参加申込み・問い合わせ

【住所・氏名・年齢・電話番号】を電話、もしくは窓口で10月16日(火)から11月5日(月)までに下記にお申し込みください。先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。
無料の一時保育ルーム(定員あり)を設けますので、ご希望の方はお申込みの際に必ず「一時保育希望」と申し添えてください。(なお公開講座のみの参加希望は後ほど受け付けます。)
【「子育てほっ！とサロン」に初めての申込者を優先しますのでご了承ください。】

『スペース～遊い～実行委員会事務局』
〒646-0011田辺市新庄町3353-9 電話 0739-26-3514 FAX 0739-26-8120
(和歌山県教育センター学びの丘 生涯学習支援課内)

主催 スペース～遊い～実行委員会【和歌山県教育センター学びの丘内】

参加募集チラシ



保育ルームの様子

②参加者の人数、年齢等

年度別参加人数、年齢等

	平成17年度		平成18年度	平成19年度	
募集人数	前期 10組の親子 後期 15名～20名		15名～20名	前後期 定員24名	
参加者数	前期 10名 後期 13名		15名	前期16名 後期13名	
参加条件	0歳児から3歳児をもつ保護者		0歳児から小学生児童をもつ保護者	0歳児から小学生児童をもつ保護者(初めての受講者)	
親の年齢	【前期】 20歳代 3名 30歳代 7名 【後期】 20歳代 4名 30歳代 9名		【年間通して】 20歳代 4名 30歳代 10名 40歳代 1名	【前期】 20歳代 3名 30歳代 12名 40歳代 1名 【後期】 20歳代 4名 30歳代 9名 40歳代 0名	
一時保育幼児年齢	【前期】 2歳未満 4名 2～3歳 10名 合計14名 【前期】 2歳未満 5名 2～3歳 9名 合計15名		【年間通して】 2歳未満 7名 2～3歳 5名 3～4歳 5名 合計17名	【前期】 2歳未満 7名 2～3歳 2名 3～4歳 3名 4歳以上 7名 合計19名 【前期】 2歳未満 7名 2～3歳 7名 3～4歳 0名 4歳以上 0名 合計14名	

③参加者の地域

市町村別参加者

	平成17年度		平成18年度	平成19年度	
田辺市	7名	12名	11名	8名	5名
白浜町	1名	1名	1名	2名	2名
上富田町	2名	0名	3名	5名	4名
みなべ町	0名	0名	0名	1名	0名
串本町	0名	0名	0名	0名	2名

④開設日及びサロンメニュー

参加者を募集するに当たって、開設する曜日と時間帯が大きな課題であった。保護者（主に母親）が参加しやすい曜日と時間帯を考慮に入れ、平成19年度前期サロンは、木曜日の午前9時30分から11時30分に開設した。

後期の日程については、前期参加者の声を参考にして、木曜日の午前10時00分～12時00分に開設することとした。



講座の様子（調理実習）

サロンのメニューは、参加者同士の交流に重点を置いてテーマ学習を行い、最後にその日の感想を書き留める「心のノート」を参加者が作成した。サロンで取り扱う資料と「心のノート」は参加者ごとにファイルに綴じて、全日程終了後に参加者に持ち帰ってもらい、子育ての参考にしてもらった。

また、平成19年度は、より多くの方々との交流が持てるように、前期2回、後期2回の公開講座を実施した。



講座の様子（絵本のABC）

公開講座のチラシ、実施の様子

⑤ 講師の選定

家庭教育子育て支援の推進を図るという主旨から、また、サロン以外で参加者と講師との関係が築きやすい面も考慮し、テーマ学習の講師には、できるだけ地元の方を招聘するように心がけた。

また、平成18年度と19年度には、地元在住の和歌山県家庭教育インストラクターにアドバイザーとして参加いただいた。

⑥ 参加者の反応

参加者からの感想で多かったものは、たとえ2時間半でも子どもと離れて、同じ年齢の子どもを持つ保護者同士でいろいろな話ができることで気分がリフレッシュできて元気が出てくることや、子育てについて同じ悩みをもっている人が他にもいることが分かってほっとしたことなどが挙げられる。

子育てが家庭内では母親に任されているケースは多く、そのため、家事と育児の両面から大きなストレスを抱えながら、悩みや不安を相談する相手を見つけれず、子育てに戸惑っている母親が多いのも事実である。

⑦ 3年間の講座内容等一覧

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
回数	前期5回 7月～10月 後期6回 12月～3月 計11回	7月～3月 計16回	前期7回 7月～10月 (公開講座2回) 後期7回 11月～2月 (公開講座2回) 計14回 (公開講座4回)
時間等	前期 14:00～16:00 (土曜日) 後期 9:30～11:30 (水曜日)	年間 9:30～11:30 (水曜日)	前期 9:30～11:30 (木曜日) 後期 10:00～12:00 (木曜日) (公開講座は土曜日)
開催日及び講座内容	<p>前期</p> <p>第1回 川口 幸三 7月2日(土) 山本 育代 「読み聞かせについて」 志波 宏子</p> <p>第2回 嶋田左知代 8月6日(土) 「子どもの事故予防」</p> <p>第3回 岡本 瑞子 9月3日(土) 「親子のコミュニケーション」</p> <p>第4回 中尾 卓嗣 9月24日(日) 「心と体を健やかに」</p> <p>第5回 中川多満子 10月29日(土) 「日常の子育てについて」</p> <p>後期</p> <p>第1回 川口 幸三 12月7日(水) 山本 育代 「読み聞かせについて」 志波 宏子</p> <p>第2回 中川多満子 1月11日(水) 音窪早洋子 「日常の子育てについて」</p> <p>第3回 岡本 瑞子 1月25日(水) 「親子のコミュニケーション」</p> <p>第4回 初山 昌平 2月15日(水) 「歯のはなし」</p> <p>第5回 救急救命士 3月1日(水) 嶋田左知代 「乳幼児事故の現状とその予防」</p> <p>第6回 鈴木 麻紀 3月8日(水) 木村すが子 「仲間づくり」 音窪早洋子</p> 	<p>第1回 おしゃべりサロン 7月5日(水) 上野 晃 「お互い知り合いましょう」 音窪早洋子</p> <p>第2回 おしゃべりサロン 7月19日(水) 上野 晃 「お互い知り合いましょうII」 音窪早洋子</p> <p>第3回 おしゃべりサロン 8月2日(水) 松本千賀子 「子育て“コツ”の科学I」</p> <p>第4回 おしゃべりサロン 8月9日(水) 松本千賀子 「子育て“コツ”の科学II」</p> <p>第5回 おしゃべりサロン 8月23日(水) 松本千賀子 「子育て“コツ”の科学III」</p> <p>第6回 自由サロン 9月6日(水) 竹中しづ子 「親子で絵本をI」 音窪早洋子</p> <p>第7回 自由サロン 9月20日(水) 竹中しづ子 「親子で絵本をII」 音窪早洋子</p> <p>第8回 学習サロン 10月18日(水) 中川多満子 「母親としての関わり方」 音窪早洋子</p> <p>第9回 学習サロン 11月15日(水) 樫木 芳高 「父親って・・・」 音窪早洋子</p> <p>第10回 学習サロン 11月29日(水) 寒川 二紀 「家庭での救急対処法」 救急救命士</p> <p>第11回 自由サロン 12月13日(水) 大更 元子 「お菓子を作ろう」</p> <p>第12回 学習サロン 1月17日(水) 松原 公美 「親子で体操I」 音窪早洋子</p> <p>第13回 自由サロン 1月31日(水) 初山 昌平 「子どもの歯科衛生」</p> <p>第14回 おしゃべりサロン 2月14日(水) 音窪早洋子 「絵本の読み聞かせ」</p> <p>第15回 自由サロン 2月28日(水) 松原 公美 「親子で体操II」 音窪早洋子</p> <p>第16回 おしゃべりサロン 3月7日(水) 音窪早洋子 「おしゃべりをしよう」</p>	<p>前期</p> <p>第1回 瀬戸 仁己 7月12日(木) 山本 一枝 「お互い知り合いましょう」 音窪早洋子</p> <p>第2回 松本千賀子 7月26日(木) 「子育てにたいせつなこと」</p> <p>第3回 山本 一枝 8月9日(木) 音窪早洋子 「おしゃべりをしよう」</p> <p>第4回 【公開講座】 8月29日(水) 安梅 勅江 「子育ての環境」 柴田 俊一</p> <p>第5回 竹中しづ子 9月13日(木) 「絵本とは・・・」</p> <p>第6回 【公開講座】 9月29日(土) 松原 公美 「親子体操」 山本 一枝 音窪早洋子</p> <p>第7回 寒川 二紀 10月11日(木) 救急救命士 「子どもの安全」 山本 一枝 音窪早洋子</p> <p>後期</p> <p>第1回 松本千賀子 11月15日(木) 「子育てって・・・」</p> <p>第2回 山本 一枝 11月29日(木) 音窪早洋子 「おしゃべりタイムI」</p> <p>第3回 大更 元子 12月13日(木) 山本 一枝 「お菓子を作ろう」 音窪早洋子</p> <p>第4回 竹中しづ子 1月17日(木) 「絵本のABC」</p> <p>第5回 【公開講座】 2月2日(土) 松原 公美 「親子体操」 山本 一枝 音窪早洋子</p> <p>第6回 【公開講座】 2月14日(木) 寒川 二紀 「救急処置法」 救急救命士 山本 一枝 音窪早洋子</p> <p>第7回 山本 一枝 2月21日(木) 音窪早洋子 「おしゃべりタイムII」</p>

(2) 成果

○不安や疑問を抱えた母親がサロンに参加し、いろいろな方からアドバイスを受け、地域の子育て情報を手に入れることで育児に対する不安が解消され、子育てに自信が持て安心したという感想が多くの参加者から寄せられた。



○受講者が育児から2時間半だけでも解放されることで、おしゃべりをしたり気分転換を図ることができ、日頃のストレスから解消された。



○幼児等については、異年齢の中での関わりで発達が促され、集団の楽しさやルール、マナーに触れられた。

○参加者同士で、新たな仲間づくりができ、生活情報の交流の場となった。また、公開講座では、過年度の受講者がリーダーとなつての交流も見られた。



○自分と共通の悩みや心配事を持った方々が自分以外にもたくさんいることを認識することができ、問題解決の糸口になったりした。

○各講座は、専門的な知識や情報を持つ講師により、参加者に毎回新たな数多くの気づきが生まれ、有意義な講座が展開できた。

講師は、すべて田辺市近辺の方々に、和歌山県家庭教育インストラクター（山本氏・音窪氏）が常に講座に参加したので、身近な相談も容易であり、ネットワークは確実に広がった。

講座終了後の交流

(3) 課題

○参加者は、自分の悩みについての具体的な返答を求めており、専門的な知識を持った講師との交流や質疑の時間、雑談等や悩みに対して共感しあえる時間をさらに確保することが大切である。

○参加者がこのサロンで得た様々な経験やネットワークの必要性を理解し、今後、地域に戻った時にリーダー的存在となり、こういった集まりの大切さをアピールできるよう、その資質や力量向上の支援も必要である。

4 「子育て支援者等研修会」について

【ねらい】

子育て支援の提供者としてのスキルの向上と、子育て支援者及び団体の更なるネットワークの構築と拡大を図る。



研修会の様子（第1回）

（1）事業内容

①テーマ「育児支援力の向上について」

②主催及び協力

第1回子育て支援者等研修会

スペース～遊U～実行委員会主催

NPO法人 Com子育て環境デザインルーム協力

第2回子育て支援者等研修会

スペース～遊U～実行委員会主催

NPO法人 Com子育て環境デザインルーム主催

③参加対象及び定員（定員50名）

保健師，保育士，子育て支援者，子育てNPO関係者，家庭教育インストラクター，民生委員，主任児童委員，母子推進委員，子育てボランティア，児童福祉関係者，児童館関係者，学校関係者，幼稚園関係者，保育所関係者，公民館関係者，行政関係者等

④期日及び会場

第1回子育て支援者等研修会

平成19年8月29日（水）研修室4

第2回子育て支援者等研修会

平成20年1月13日（日）研修室2

⑤内容

第1回子育て支援者等研修会

講義・協議

「子育て環境チェックリストの活用について」

講師 筑波大学大学院人間総合科学研究所教授

安梅 勅江

浜松市児童相談所 相談グループ長

柴田 俊一

第2回子育て支援者等研修会

事例発表「わが町の子育てボランティア活動」

発表者 日高川町子育てサポーターリーダー

熊谷 重美

協議 「より効果的な子育て支援とは」

講師 浜松市児童相談所 相談グループ長

柴田 俊一



研修会の様子（第1回）

⑥参加人数

○第1回子育て支援者等研修会 38名

○第2回子育て支援者等研修会 27名

(2) 成果

- 子育て支援者が実際に支援するうえで、大変重要な目安となる「子育て環境の評価方法」についての研修会を2回にわたって実施することができ、参加者にとっては非常に有意義であったと考える。第2回目では、第1回目のチェックリスト等を活用した事例を交えての研修会となり、子育て環境チェックリストの活用方法の実際についての研修を行うことができた。
- 第2回目の研修会では事例発表に重点を置いたので、様々な子育て支援の姿が見られたことや各団体や市町村で子育て支援を目的とした具体的な取組例の情報交換もでき、今後の事業展開を考えるうえで大いに参考になった。
- 子育て支援のNPOの方々と共催していただいたおかげで、非常に幅が広く、内容が密な研修会になり、参加者のスキルアップにつながった。

(3) 課題

- 子育て支援者等研修会への参加者の多くは、実際に子育て支援活動をされている方であり、子育て支援事業に関わる行政関係者がまだまだ少ないのが現状である。広報の仕方にも問題があるのではないかと考える。
- 今後は、参加者同士の情報交換、日頃の悩みについての交流等も行っていきたい。



研修会の様子(第2回)



研修会の様子(アイスブレイキング)

5 本事業の事業効果に関する分析

「子育てほっ！とサロン」は、和歌山県立情報交流センターBig・Uという施設の中で、和歌山県教育センター学びの丘に事務局を置き、3年間にわたり、乳幼児等を持つ保護者の支援と参加者同士のつながりを目的に実施したモデル事業である。

子育て中の保護者を対象に20名以内の集団を募集し、一時保育のもと、様々な人との出会いの場を提供し、仲間づくりを進める事業を実施できた。

こうした一時保育が保障された同一集団で、一定回数継続される事業スタイルは、以下の点で、子育ての大切な道程（通過点）をしっかりとサポートし、子育ての社会化がいかに家庭教育支援に効果的であるかが立証された。

- 少子化・核家族化のもと、時として親密になりすぎる親子関係に風を通し、適切な親子の距離感に気づき、親子関係のバランスを修正する機会となった。
(関係支援へのダイレクトな効果)
- 保護者が講座に集中でき、また、人とコミュニケーションにも集中できた。
(育児ストレスの緩和)
- 第3者に子どもをゆだねる体験が、親と子の社会への信頼を育てることにつながった。
(支えられることから支え合うことへ、迷惑をかけることとの違いを知ること)
- 乳幼児の集団は、子どもの発育へ良い影響を促すことができた。
(ハイハイを始める、物や人への関心が高まる、歩き始める、視線をしっかりとあわすようになる等、未就園児の一時保育現場は、様々な発達の変化が見られること)
- サロンの連続性や一時保育が求める緻密な運営体制は、事業の潤滑な推進を促すと同時に、参加者と運営者間の頻繁なやり取りが手助けとなり、参加者の参加意欲を高め、事業実施期間から終了後においても、仲間づくりや子育てを進めるうえで心の拠り所となった。

6 終わりに

「子育てほっ！とサロン」事業は、参加者同士のつながりの質を基軸とした事業である。このようなスタイルで実施された3年間の事業は、参加者にとって充実した内容となった。

また、スペース～遊U～実行委員会（県教育センター学びの丘）主催で子育て支援のNPO団体と連携し、乳幼児と親子を対象とした事業を運営したことや家庭教育子育て支援に求められるべき非常に質の高い内容で実施できたことに、地域でも多大な評価が付与されるであろう。

今後もこうした丁寧で温かなやり取りのある事業が地域で引き続き継続されることを熱願し、実行委員の方々や講師先生方をはじめ、事業実施に関係してくださった皆様に心からお礼を申し上げます。

(文責 生涯学習支援課社会教育主事 樫木芳高)